

【Bブロック】  
▽2回戦  
室蘭工業

00000000	00
0200025X	90

鷓川 (七回コールド)  
(エ)久保田、荒、石垣、鈴木、小田

(鷓) 稲葉、西川、佐々木  
 西村(鷓)  
 佐々木駿、阿部(鷓)  
 室蘭工業

鷓川  
 昨秋支部代表でシードの鷓川が好発進。4点先行の六回に西村の適時2点三塁打を含めた打者一巡の猛攻で点差を広げた。投げては稲葉、西川が継投して零封。室工は散発の4安打で好機を築くことができなかった。

244531  
 打安振球失  
 2710250



## 気迫あふれる鷓川野球

### 攻守に圧倒、コールド発進

前年度秋季大会支部代表のシード校として第4日に満を以て押し切った。鬼海監督が「自

6回の猛攻で本塁にかえる鷓川西村(左)

分たちのやりたい野球はできていた」と言うように、攻守に持ち前の気迫あふれるプレーで圧倒。コールド勝ちと好発進した。

新型コロナウイルスの影響で6月からようやく部活動を再開。例年になく数少ない練習試合では「無失点や大量得点の展開は一度もなかった」と言う鬼海監督だが、「ここ一番でこういう結果になったのは、日ごろの積み重ねの成果」と一定の手応えを受け止めていた。先発した主戦の稲葉(3年)は「野手のみんながしっかり流れをつくってくれたから、0点に抑えられた」と語った。

続く支部代表決定戦でもモットーの全力疾走野球を貫き、南大会切符をつかみ取る構えだ。稲葉は「きょうは制球が甘かった。次は満足のいくピッチングがしたい」と気を引き締めていた。